

平成30年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 野崎西 小学校
作成日	平成 31年 3月 11日

1 教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に主体的に対応して
たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力	ゆたかな心の育成	健やかな体の育成	開かれた学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力テストにおいては、理科以外すべて全国平均を上回ったが、5年生の県学習到達度調査では無回答率が高い。 ・毎日の勉強がわかると答える児童の割合を上げてほしい。 ・児童の興味・関心・意欲を引き出せる指導を今後とも工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる児童が97%だが、100%をめざしてもらいたい。 ・いじめの早期発見・早期解決に全職員で取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べてくる児童100%となるよう呼び掛けてほしい。 ・スポーツテストでA・B判定の児童を増やす手立てをしてほしい。 ・全教員が積極的に運動をおこなうよう計画し、実践してほしい。 ・給食が楽しみな児童をさらに増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等を工夫し、学校の様子がよく分かったという保護者100%を目指してほしい。 ・子供は学校の様子をよく話すと感じる保護者があまり多くないため、学校の普段の様子をより発信してほしい。
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が一丸となり、学力テストの分析をし、課題克服に向けた取り組みを進めている。 ・放課後や休業中の補充学習を積極的にを行い、家庭での自主学習を定着させ、和歌山県の課題を認識して、更なる取り組みが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教材を有効に活用して、よりよい道徳心や人権意識を高揚させてほしい。 ・学年に応じて、環境問題や野菜づくり等に取り組み、豊かな心の育成に努めている。 ・若手教員の多い中、全職員で全児童を育てる意識を持つことは大切であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場での遊びを通して、体力の向上と豊かな人間性の育成に努めてほしい。 ・早寝早起き朝ごはんを全児童に定着させ、基本的生活を確立させてほしい。 ・休憩中でも、教師とともに活動することを通し、体を動かす楽しさを実感させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展や文化祭参加など、公民館との交流は意義がある。 ・保護者や地域住民が、ボランティアとして図書室を開放できていることは良い。 ・見守り隊の方々を招待しての6年生を送る集会は、学校と地域の交流を深める上でも意義がある。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数の研究授業を通して教員の授業力向上をめざしている。 ・児童の実態を共通認識した上で、授業に取り組み、全国学力テストでほとんど平均を上回ったことは評価できる。 ・成果を保護者に伝え、より一層家庭学習が定着するよう啓発して行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を有効に活用し、体験的な活動を計画的に進めてほしい。 ・地域と一体となる活動を今後増やして行ってほしい。 ・休憩中でも教師と児童が一体となり、活き活きと活動している姿がうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前・事後アンケートを活用して、授業改善に生かしている。 ・朝の運動を教師と共にこない、運動に親しむ機会を積極的に与えている。 ・健康観察を通し、疾病の予防や体調不良等に対する早期対応ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた学校」に向けて、更なる情報発信を積極的に行ってほしい。 ・「いじめ特別号」の発行で、学校の授業内容が伝わってよい。 ・学生ボランティアが6人も参加して、子供たちと活動を共にできていることは素晴らしい。
に取組する適切性の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業において、和歌山の授業3か条が統一されていて、わかりやすい。 ・個を大切に授業を行っているが、さらに指導法を学び、教師の力量を高めて行ってほしい。 ・子供は意欲的に授業に取り組んでいる。今後、自分の意見を適切な言葉で説明できる児童の育成に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや問題行動に対して、学校全体で取り組んでいる。取り組みも「学校だより特別号」で発信しているのはよい。 ・早期発見・早期解決に努めてほしい。 ・今の児童はたくましさに欠けるので、教育目標が達成できるような取り組みを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の事前アンケートにより計画案を工夫し、意欲的に取り組める児童の育成に努めている。 ・個に応じた声掛けをおこない、できる喜びを実感させている。 ・教材や場面設定を工夫し、誰もが楽しく参加できるよう取組を進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の清掃活動を地域の自治会と連携して行っていることはよい。 ・津波を想定した和歌山大学への避難訓練は、保護者・地域、関係機関の協力を得て、大変意義がある。年々地域の方の参加者も増え、訓練も回数を重ねるごとに、より充実してきている。
改善年度法に	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト結果の分析をもとに、課題解決の方法を具体化し、基礎学力定着に向けて、取り組んでほしい。 ・教材研究や研究授業を通して、教員の資質向上を図って行ってほしい。 ・自主学習の定着を図り、計画的に学習を進められる児童の育成に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育むために、家庭や地域の教育力を高められるよう、積極的に働きかけていく必要性を感じる。 ・自己肯定感が持てる子供の育成に向け、学校・家庭・地域が連携を図り、一丸となって学校づくりを進めていきたい。 ・教師と児童の距離が近く、信頼関係が築かれている。教育活動全体において、このことを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自にめあてをしっかりともち、取組の過程を大切に授業にしてほしい。 ・苦手意識を克服し、できて良かったという喜びを与えてほしい。 ・一人一人の技量は違うが、能力差に関係なく、運動量が確保できる工夫をして行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を積極的に進め、学校行事に地域の方も参加いただけるよう、情報提供や連携を深めてほしい。 ・子供たちの安全確保に向け、地域との連携をさらに深めてほしい。 ・通学路の安全対策や、学校の老朽化改善・施設の管理面で、地域として応援できることはしていきたい。

3 その他のご意見

- ・若い教員が多く、子供たちとの距離が近いのはいいことだ。教職員一人一人の資質向上に向けてさらに研修を続け、子供を第一に考えた教育活動を行ってほしい。
- ・大津波を想定した避難訓練は、保護者や地域、関係機関とも連携できている。避難経路等を見直し、毎年おこなってほしい。
- ・外で遊ぶ子供が減少している中、放課後運動場を開放することにより、遊びに来る子供が増えているのはよい傾向である。
- ・いじめはどこの学校でもあるという意識を持ち、早期発見・早期解決に尽力してほしい。一人一人をよく見つめ、問題行動が起こる前に、個に応じた細やかな指導をして行ってほしい。